

2011年5月15日 主日礼拝

司 会 ①二見兄 ②今村兄 ③鷺沢兄

奏 楽

祈 禱 ①梅津兄 ②多田兄

賛 美 聖歌458番 (笹尾鉄三郎作詞)
(み手の中ですべては変わる)

使徒信条

聖 書 ① イザヤ書30章18～21節
②③ ヨハネによる福音書5章1～9節

音 楽 ① 坪井永城師
②③ ノーヴァ・ヴォーチェ

メッセージ ① 「これは道だ、これに歩め」 倉知契副牧師
②③ 「涙の谷も祝福の泉となる」 大川従道牧師

賛 美 聖歌458番 (献金・東日本のため)
頌 栄 「朝に夕にとこしえまでも」 アーメン
祝 禱

「その人たちは、涙の谷も、祝福の泉に変えてしまいます。」
(詩篇八十四の六・現代訳)

石の枕

先週月曜日夜のこと、執事会の祈りと交わりのときを持った。新役員と旧役員との合同集会である。一度責任役員をやると終身「執事」となり、教会形成に献身的に参加するというシステムである。特にすばらしいのは、祈り合うという形で結集していることである。

大川牧師がひとり試練の中で苦しみがいていたときに、三畑義雄長老や安藤せい姉の発案で始められた祈禱会。別名「せい禱会」という。今回が213回目。月に1回の祈禱会。大川牧師がまだ30代初めのころからである。

先日、牧師のメッセージで「私たちは養われる必要があることを自覚しなければならない」とあった。羊飼いである大牧者から、直接養いを受ける。養われない人は成長も進化も深化もない。主から、また他者から学ぼうという姿勢が教会を健全にする。

牧師の自覚のひとつは、信徒の皆さまに祈られ愛されてはじめて聖務を完うできるということである。心から感謝しています。若い副牧師たちも、その歴史にふれて厳粛な思いを感じたでしょう。

祈られ養われなければ、恵みの中を歩むことはできないでしょう。具体的には、聖書を読み祈ること。最近は「リビングライフ」という月刊誌を用いて、QT(静思の時)をしている人が全国に多くおられる。もう6月号が届いたが、主幹者のハ・ヨンジョ先生の「離婚に関するイエスの解決」の文章は読むべき内容である。

5月から早天祈禱会でも用いられているが、教会員全員が毎日デボーションの助けにお使いになることを期待し祈ります。

CGNTVという衛星放送は、24時間クリスチャン番組である。大和カルバリーチャペルの礼拝が週に3回も放映され、韓国語の字幕の入ったものが世界中(アフリカでも)で観られる。勿論、インターネットでも配信している。

このような時代が来るとは誰も想像できなかった。クリスチャン人口1%ではムリムリ?! 想定外のことが現実になされている。

未曾有の出来事のあとは、未曾有の奇跡的恵みを体験するものです。明るく、夢を持って積極的に、肯定的に信仰的に前進しましょう。

♪主は今生きておられる。明日も生きよう。主がおられる♪

宿題(祝大) 今週もむさぼるように聖書を読みましょう!

Aコース:ヨハネ5章～8章 Bコース:列王紀下12章～歴代志上5章

【大和ニュース】

- ・ 本日、入門講座Ⅲ(9時・柴田師)、SS教師会、送迎駐車場奉仕会。J. PLUSあり。
- ・ 本日礼拝後、青年会(新人歓迎会・シャローム館、3時より)。
- ・ 今週も祈禱会を大切に! 説教はオカムラ宣教師のスペシャルと大川牧師。
- ・ 福音礼拝は、火曜夜2時半～3時半。説教は坪井副牧師。「沢山笑った、沢山泣いた。」
- ・ 準備祈禱会は、金曜夜9時～10時半。説教は菅原伝道師。
- ・ 週末礼拝は、土曜夜6時～6時59分。説教は倉知副牧師。
- * 「土曜スクール」は子どもの特別集会です。土曜朝9時半。森チャペルにて。
- * 「いわきカルバリーチャペル」の特集。19日夜。講師は倉知師と坪井師。
- * 宮田兄の奉仕。15日酒田、17日鶴岡、22日愛知、28日豊田。お祈りください。